平成 19 年 4 月 12 日
三菱ガス化学株式会社
伊藤忠商事株式会社
Brunei National Petroleum Company

ブルネイ・ダルサラーム国におけるメタノール事業について

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、以下「MGC」という）、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、以下「伊藤忠」という）および Brunei National Petroleum Company(本社：ブルネイ・ダルサラーム国バンダル・スリ・ブガワン。以下「PetroulemBRUNEI」という)は、合弁会社である Brunei Methanol Company （以下、「BMC」という）において、年産 85 万トンのメタノール事業を行うことといたしました。建設資金は約４億ドルであり、2009 年末の完工および 2010 年第 2 四半期の商業運転開始を予定しております。

MGC、伊藤忠および PetroulemBRUNEI は、2006 年 3 月に BMC を設立し、詳細な事業化調査を行なってまいりましたが、このたび合弁事業に関する諸条件が確定したことから、投資の最終決定に至ったものです。

本合弁事業の特性として投資規模が大きくかつ投資回収が長期に亘ることから、BMC は国際協力銀行を中心とする銀行団から、同国初となるプロジェクトファイナンスによる資金調達を行なう予定です。また、ファイナンシャルアドバイザーとして株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行を起用しております。なお、プラントは三菱重工業株式会社とフルターンキーベースでの建設契約を締結いたしました。

メタノールは多くの川下製品を持つ基礎化学品の一つで、主にホルマリン、酢酸などの化学品用途の原料として使用されています。また今後はバイオディーゼルや DME（ジメチルエーテル）の原料など幅広い用途での利用拡大も見込まれております。現在の世界需要は年間約 36 百万トンですが、今後も年率３％の成長が見込まれており、特に本合弁事業のメタノール輸出先である日本を含むアジア市場では、経済成長に伴う高い伸びが期待されています。

本合弁事業は、アジア市場の中心に位置するため、ロジスティックスにおけるコスト優位性を有し、また安価な原料天然ガスを利用できることから、他の事業者に対して十分な競争力を有しております。

MGC および伊藤忠は、本合弁事業を通じて、メタノール事業における世界でのプレゼンスをさらに高めてまいります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
三菱ガス化学株式会社　広報ＩＲ部　　西村
ＴＥＬ：０３－３２８３－５０４１
伊藤忠商事株式会社　広報部報道チーム　　北川
ＴＥＬ：０３－３４９７－７２９４

別紙

（合弁事業の概要）

１．出資比率	MGC	５０％
	PB Petrochemical	２５％
	※　PetroulemBRUNEI の関連会社	
	伊藤忠	２５％
２．生産能力	日産２，５００トン（年産８５０，０００トン）	
３．生産技術	三菱（MGC／MHI）メタノールプロセス	
	※　MGC と三菱重工業株式会社が共同保有するプロセス技術	
４．事業立地	ブルネイ・ダルサラーム国　スンガイ・リアング工業地区	
５．天然ガス供給者	Brunei Shell Petroleum Company Sdn Bhd（BSP）	
６．製品引取権者	MGC	
７．建設完了時期	２００９年第４四半期	
８．商業生産開始	２０１０年第２四半期	
９．資金調達方法	国際協力銀行を中心とするプロジェクトファイナンス（予定）	
１０．従業員数	約１６０名（現地採用従業員）	

以上